



行動のレパトリーを増やせ

～早く失敗し、早く学び、早く成長する～

この話は、一昨年「校長講話」で少しお話ししました。ただ、この1、2年の間にみなさんのチャレンジ精神がたくさん見られるようになった気がして、もう一度発信したいと思いました。

さて、将来、みなさんが羽ばたく社会は、何かをとりあえず「決めて」、それを実践することの連続になります。自らの意思をもち、多様な考え方や出会いながらのチャレンジが求められます。すると「行動のレパトリー」が増えます。私は、この「行動のレパトリー」を増やすことが、人が集まる学校の存在意義と思っています。

ところで最近私がよく思うこととして、今の実業界のことを私たち大人がどのくらい語れるのだろうかと思います。社会変化のスピードは世の中の実情を見れば明らかなのですが、そのリアルタイムの体験がありません（教師の職業については語れるがその他のことは・・・）。私たち大人が、みなさんに何を語れるのか少し怖い気がします。

今社会は、あまりにも加速度的に変化しているため、「計画を立てることが失敗をはらむ」とある有名企業は言っているそうです。だから、確定事項を「決める」より、仮説を立ててアクションしながら学んで、先に進むやり方が求められています。

こうした新しい時代を表すキーワードに「**A g i l e (アジャイル)**」という言葉があります。「**A g i l e**」を直訳すると、機敏な、素早いという意味であり、成長戦略において、「**早く失敗し**」「**早く学び**」「**早く成長する**」という意味で使われます。

このような社会の変化を背景に、学校でも家庭でもみなさんの将来について考えていく必要性を感じます。進路選択など自分の進む道を探すのは大変なことと思っている人が多いと思います。「これだ」と決めつけるのではなく、やってみたいことのビジョンから、今の自分がチャレンジしたいこと、関心があることを見つけて、仮説を立てて進むことが大切だと思います。仮説を立てて、やってみて、違っていたら方向転換すればいいのです。勉強の仕方でも部活動の練習方法もそうであってほしいと思います。成長するとまた見える世界が変わるので、ビジョンも変わります。そうしたら、また新たな仮説を立ててチャレンジすればいいのです。学校教育でもそれを繰り返しやる姿勢を習慣化させて、そうした学び方を会得させるのが学校という場になると考えています。

失敗を恐れず、チャレンジすることは、実はなかなか簡単なことではありません。そのためのマインドセットをする必要があると思います。

マインドセットには「硬直型」と「成長型」があります。**硬直型マインドセット**はチャレンジを恐れ、**成長型マインドセット**はチャレンジを楽しむことができるというものです。この成長型マインドセットを育てるために欠かせないのは、「**心理的安全性**」です。失敗について率直に話すとき、罰せられたり、辱められたりすることがなく、仲間がチャレンジすることがいいことという考えの環境があることが重要なのです。

それでも、チャレンジは誰でも不安を感じるものです。だから、チャレンジしている人に対し、圧倒的にリスペクトして寄り添い、ほめることが大切になります。

以前本校のバレーボールクラスマッチを見ました。技術の高いバレー部の生徒が、苦手な友だちに対して、ミスしてもチャレンジしていることを拍手したり、声をかけたりする姿がとても素敵だと思いました。こういう仲間関係だと「成長型マインドセット」が育まれるのです。高校バレー部のみなさん、「春高バレーの健闘を祈る！」